

2026 年度

授業概要

科目名		徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位) 配当学年・時期	理学療法士科4年			必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
徒手理学療法に関連する基礎的な解剖学・生理学・運動学の理解を深めるとともに、整形外科疾患、中枢神経疾患、慢性疼痛などの代表的な病態に対して、適切な評価および治療選択が行える力を養うことを目的とする。 また、徒手理学療法のみならず、運動療法学および物理療法学との関連性を理解し、それぞれの特性を踏まえた統合的なリハビリテーションの考え方を身につけることを目的とする。									
〔授業全体の内容の概要〕									
本講義では、徒手理学療法の基本的な考え方を基盤とし、機能解剖学、運動学、疼痛メカニズムなどの基礎知識を整理したうえで、臨床場面における評価および治療選択の思考過程を学習する。 整形外科領域、中枢神経領域、慢性疼痛領域を中心に取り上げ、徒手理学療法と運動療法学、物理療法学との関係性や使い分けについて理解を深める。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
1. 徒手理学療法に関連する基礎的な解剖学・生理学・運動学の知識を説明できる。 2. 整形外科疾患、中枢神経疾患、慢性疼痛における病態と機能障害を理解し、評価の視点を説明できる。 3. 徒手理学療法、運動療法学、物理療法学の特徴を理解し、症例に応じた治療選択の理由を説明できる。 4. 評価結果に基づき、適切な治療方針を立案することができる。 5. 国家試験問題において、各療法の適応や選択理由を踏まえて解答することができる。									
回数	講義内容								
1	解剖学、生理学、運動学等の基礎分野と治療手技の関連								
2	解剖学や運動学等の基礎分野と治療手技の関連								
3	整形外科疾患、中枢疾患、慢性疼痛について								
4	整形外科疾患、中枢疾患、慢性疼痛について								
5	運動療法、物理療法について								
6	運動療法、物理療法について								
7	病態から治療まで								
8	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験で判定する									